

路面標示シート工（加熱式）特記仕様書

1. 使用材料

材料は耐候性及び耐久性に優れた材質とし、路面表示用塗料 JIS K5665 に準拠すること。
品質は次表を有すること。

項目	性状
厚さ（1 層あたり）	1.5mm 以上
引張強さ	200N/cm ² 以上
密度（23℃） g/cm ³	2.3 以下
軟化点 ℃	80 以上
塗膜の外観	正常である。
タイヤ付着性	タイヤに付着しない
耐摩耗性（100 回転について）	摩耗減量が 200 mg 以下
耐アルカリ性	異常がない。
屋外暴露対候性	割れ、剥がれ及び色の変化の程度が大きくない

2. 施工

設置面は浮いた骨材、ゴミなどを除去すると共に十分に清掃すること。また、設置面に極端な凹凸がある箇所には施工しないこと。

天候が雨、雪の場合や設置面がぬれている場合は施工してはならない。

外気温が 5℃未満の場合は原則、施工してはならない。外気温が 5℃以上であっても路面が 5℃未満の場合は路面を十分に温めるなどの処理をしてから施工すること。

プライマーを均一に塗布し十分に乾燥した後、施工すること。

新設アスファルト上及び新設コンクリート上へ設置する場合は、監督員と協議すること。

プライマーは施工面の舗装に適したものを使用し、塗布量は各メーカーの仕様に従うこと。

加熱の度合については、メーカーの仕様に従い適切に施工することとし、加熱溶融後はシート縁端部と設置面の間に隙間がないことを確認すること。

施工後、シート及び路面が十分に冷却したことを確認後、交通開放すること。散水などにより冷却した場合は、シート上の水分を除去してから交通開放すること。

3. その他

本特記仕様書に記載されていない事項については、監督員と協議すること。